

## パブリックコメント結果に対する各委員からの意見

(期間：令和5年1月4日～1月12日)

## (1) 市民意見 NO1について

委員	意見等	市の考え方
石田委員	食品ロス削減に関する取り組みのPRとは何ですか？江別市に貢献できるような取り組み内容を期待しています。	食品ロス削減に関する取り組みのPRについては、飲食店での「3010運動」やスーパーマーケットやコンビニエンスストア等での「てまえどり」などを行っている店舗のPR等を考えています。
西谷委員	商品の値引きしている店舗の公表については店側の事情等もあり公表は難しいというのは同意見です。食品ロスが排出される原因は様々と思いますが日本の食品流通業界の商習慣である「3分の1ルール」も要因の1つと聞きます。実際買い物に行くとまだまだ期限があるのに値引きされ陳列している商品を見かけますが何日もしないうちにそれらは台からなくなっています。売れ残った商品は返品か廃棄されているのだろうと想像しております。期限を残し廃棄される品がフードバンクなどにつながれば食品ロスは減り経済的に困窮している人達などの助けにもなります。市と事業者の連携を進めてほしいと願います。また「てまえどり」の普及・啓発は食品ロスを減らすのに市民が簡単に実行できて効果のある本当に良い方法だと思います。事業者にとっても有益で協力しやすい方法と考えますので今後の更なる推進を希望します。	消費・賞味期限前の食品の活用について、フードバンク活動等が拡大されるよう推進いたします。また、「てまえどり」の取り組みについても、店舗でのPRも含めて進めていきたいと考えております。

委員	意見等	市の考え方
千葉委員	商品の値引きしている店舗公表についてですが、公表しなくても消費者は店舗の値下げ時間を知っているようです。値引きで余分な食品を買って食品ロスになっているとも聞いています。	参考意見としてお受けいたします。
落合委員	「フードバンク活動について研究する」と前向きに示しており、これで宜しいと思います。	参考意見としてお受けいたします。
押谷委員	食品について「スーパーマーケット・小売業者等にご協力いただく」ことを、フードバンクについては「市民団体、大学等と連携して取り組む」ことを追記できないでしょうか。	パブリックコメント結果のNO1下線部分を追記します。
和田委員	食品を買う時は陳列棚の手前は古い物が前の方、奥の方は新しい商品を置いているので選んでしまいがちですが、手前どりで買うと在庫が残らないと思います。消費期限と賞味期限に気を付けて買い物するが、賞味期限が長いので、つい油断して期限が過ぎる時がある。食品ロスに気を付けていきたいものである。	参考意見としてお受けいたします。

(2) 市民意見 NO2の1について

委員	意見等	市の考え方
落合委員	「必要に応じて見直す」ので問題ないと思います。	参考意見としてお受けいたします。
和田委員	無駄な食品は買わない様に各家庭で献立表を考えて、余り多くは買わない。作り過ぎを少なくし、残さない様にする。野菜はどうしても無駄が出てしまいがちなので、炒めたり、スープにし、又は、かき揚げにして食品ロスを出さない様にしている。	参考意見としてお受けいたします。

(3) 市民意見 NO2の2について

委員	意見等	市の考え方
西谷委員	「食品ロス削減の計画の家庭系、事業系ともに半減させる目標値は達成が難しいかもしれないが」と寄せられた意見の方と同意見です。半減となると一般家庭の我が家で考えてみると実現はかなり難しいと感じました。しかし出来なかったでは済む問題ではなさそうなので市民、事業者が協力できる、しなければと思えるようなより具体的で実効性が見込める施策と強い意志のようなものを示してほしいと思いました。	目標達成に向け、本計画の施策に取り組むとともに、先進的な事例の調査・研究を進め、有効な取り組みについては、速やかに取り入れたいと考えております。
落合委員	願望のごとき目標であっても、その姿勢から具体的な施策が生まれるものであり、これで宜しいのではないかと。	参考意見としてお受けいたします。

委員	意見等	市の考え方
和田委員	コロナになってから余り外食はしていない。外食をしなければならぬ時は食品ロスの事を話し、小を頼んで残さない様になっている。	参考意見としてお受けいたします。

#### (4) 市民意見 NO2の3について

委員	意見等	市の考え方
石田委員	国、道の計画はいつ頃提示されるものなのか？ 市としてどのように今考えているのかを示して欲しいという意見ではないか。	国の「食品ロスの削減に関する基本的な方針(令和2年3月閣議決定)」や北海道の「北海道食品ロス削減推進計画(令和3年3月策定)」において、市民、事業者、行政の具体的な役割が示されており、本計画は現在の国の基本方針や道の計画に基づき、策定したものであります。国では概ね5年毎に基本方針を見直す予定であり、その後の道の計画の見直し状況を踏まえ、新たな施策等を検討したいと考えております。
西谷委員	今までの市の考えでも共通する事ですがその回答から国や道からの計画や通達などが示されるのを待ってから検討するという立場が感じられます。それが当たり前の事なのかもしれませんがわからない一般市民としては受け身と感じてしまいます。	本計画は計画の位置付け(計画P2)にありますように、国や道の計画等に基づき策定し、これら上位計画の中で市町村の具体的な役割が示されております。商習慣等の事業活動への直接的な働きかけなど、単独の市町村では具体的に取り組めない事項もありますことから、引き続き国や道の動向を注視してまいります。

委員	意見等	市の考え方
落合委員	「未利用品を活用した食品ロスの削減の具体的な施策は国や道の動向によって検討する」ものとしており、これで宜しいと思う。	参考意見としてお受けいたします。
押谷委員	最後に「事業者に対して積極的に取り組んでいただくようPRに努めてまいります」と追記できないでしょうか。「検討」だけではないことを強調していただきたいと思います。	パブリックコメント結果のNO2の3下線部分を追記します。
和田委員	夕方に買い物をすると値引きシールを貼っている商品を買う。食品ロス削減に繋がって、店舗も在庫を処理できる。	参考意見としてお受けいたします。

(5) 市民意見 NO2の4について

委員	意見等	市の考え方
石田委員	計画修正案の「推進」という言葉の意味は？ 助成すること？	フードバンク活動等については、事業者と団体との連携体制の構築などに取り組むことで推進したいと考えております。
西谷委員	検討から推進に変わる事で私にも取り組む姿勢を感じ取れました。	参考意見としてお受けいたします。
押谷委員	前述の {NO2の3} をご検討ください。	計画に「団体や大学等と連携して整理するほか、事業者に対しこの活動に取り組んでいただくようPRに努めるなど、」を追記します。

委員	意見等	市の考え方
和田委員	食育を通して、一度親子料理教室に参加した事がありますが、中にはマイ包丁を持参して上手に野菜を切っている子どもがいて、家庭でも食育について活動していると思い、感心した。一日を過ごして自分も大変勉強になりました。	参考意見としてお受けいたします。

(その他) 生活福祉常任委員会委員に係る修正案について

委員	意見等	市の考え方
西谷委員	具体的な取り組み内容である事はわかりやすく良いと思います。但し「子供達が食べ物を残さない」という言葉が昔の給食を食べるまで教室に残される私個人のイメージがつい浮かんでしまう点が気になりました。	どうしても給食を全て食べられない子ども達もいますので、計画を「食事や食べ物の大切さを知るとともに、個々の子どもの事情を踏まえた食べ残しを減らす取り組みも重要」に修正します。
押谷委員	アレルギーの問題もあるので「個々の子どもの事情を踏まえて取り組んで行く」と追記できないでしょうか。	

委員	意見等	市の考え方
和田委員	<p>給食センターの食育の事は良くわかりません。子供さん達は好き嫌いもあるでしょうが、本当は残さない様にしたいものです。</p> <p>※昨年10月31日の道新にSDGs持続可能な未来へ、「地球を守ろう」10歳、本を書く、10歳の子供が絵本を出版したが、テレビ等では若い方がSDGsの事を話したりしているのを見たとき色々勉強している事がわかります。フードドライブ活動を消費者協会でやっているの、賞味期限の長いもの、缶詰等を調達しています。（微力ながら寄付させて頂いています。</p>	<p>参考意見としてお受けいたします。</p>